

あらすじで読み解く 古事記神話

三浦佑之

文藝春秋
1208 円



目国の文化に詳しくないのは珍しいことではないかと思うが、果たして聞きかじりでなく、アマテラスや海幸彦と山幸彦について説明できる日本人がどれくらいいるだろうか。正直、これまでは「あらすじで読む〇〇」的な本には懐疑的だったのだが、古事記ほどの古い書物に興味を持ったとしたら、本書のようなガイドの力を借りるのは正解かもしれない。差しはさまれる写真の数々も素晴らしい。日本にもまだまだこのように美しい場所が残されているのかと息を吞まずにいられない。

ところで、著者は「舟を編む」(光文社)などで知られる三浦しをん氏のお父上である。本書はたいへん学術的な内容で、娘さんのエッセイに出てくるテキストなおとつさんの著書だとは驚きを禁じ得ない。